

第7回広島市 平和記念式典 児童派遣事業

問い合わせ
総務課人権推進・
男女共同参画担当

平和記念式典に参列しました

戦争の悲惨さと平和の尊さを次の世代に伝えていくことを目的に、市内6つの小学校代表児童6人が平和記念式典に参列しました。

6人は、8月5日に平和記念公園を訪れ、平和を願って折り重ねた千羽鶴を原爆の子の像に捧げ、亡くなられた方のご冥福を祈りました。また、広島平和記念資料館では被爆者の遺品や写真を見学し、人々の命を奪う戦争は絶対あってはならないことや平和の尊さを実感しました。

翌6日は平和記念式典に参列しました。式典には世界121の国と地域の代表を含む、およそ5万人が参列し、原爆が投下された午前8時15分に黙とうを捧げました。続いて平和宣言や平和への誓いが行われ、恒久平和への思いを強く感じた式典でした。20日には参加報告会を開催し、事業を通じて感じたことや2日間で体験したことを踏まえ、6人が思い思いの言葉で、未来に向けて平和の大切さを伝えていくことを発表しました。

平和記念式典

原爆死没者の霊を慰め、世界の恒久平和を祈念するため、平和記念公園の原爆死没者慰霊碑(広島平和都市記念碑)前において、原爆死没者の遺族をはじめ、市民多数の参加のもと平和記念式典が挙行されています。式典の中で広島市長によって行われる平和宣言は、世界各国に送られています。

次第

- | | |
|----------------|-------------------|
| ①開式 | ⑥平和宣言 |
| ②原爆死没者
名簿奉納 | ⑦放鳩 |
| ③式辞 | ⑧平和への誓い |
| ④献花 | ⑨あいさつ |
| ⑤黙とう・
平和の鐘 | ⑩ひろしま
平和の歌(合唱) |
| | ⑪閉式 |



高麗川小学校 神田 隼汰さん

僕が広島に行って一番印象に残ったのは、広島平和記念資料館です。8時15分で止まった時計、ボロボロになった自転車、丸焦げになった弁当箱、当時の写真や絵が展示されていて、「助けて」「水をちょうだい」という声が聞こえた気がして、当時の人の苦しみが伝わってきました。世界各国から参加した平和記念式典では、平和への祈りの言葉から、核は使わないという強い思いを感じました。広島での体験を伝え、平和を祈り続けたいです。



高萩北小学校 餅田 梨桜さん

私は広島を見た。だから言いたい。戦争は絶対に駄目だ。原子爆弾は一瞬で私達の当たり前を奪ってしまう。広島平和記念資料館で被爆した人の服を見た。原爆の威力で見たことのない破れ方をしていた。私と同じくらいの子どもの服もあって、胸が苦しくなり見ていられなかった。今の日本の当たり前を未来へつなぐため、広島で見たこと、聞いたこと、感じたこと全てをみんなに伝えて、核兵器の無い世界をつくりたいと感じた。



武蔵台小中学校 高井 駿さん

これまで自分にとって戦争や原爆は、学校の社会科の授業で見る教科書やテレビのニュースの中だけの話でした。でも、広島平和記念資料館や平和記念式典に行って、さまざまなことを知りました。誰もが戦争は駄目だと知っているのに、なぜ世界から無くならないのかが分かりません。今の自分には、世界中の戦争をすぐに止めるような力はありませんが、友達を大切にするなど今できることから始め、広島で感じた恐怖をみんなに伝えていきます。



高根小中学校 土屋 七星さん

広島派遣では、原爆ドームや広島平和記念資料館を見学し、戦争の恐ろしさと平和の大切さを深く学びました。また、全国の仲間との交流を通して、さまざまな考え方に触れることができました。今回の経験から、平和とは、相手を思いやることから始まると感じました。学んだことを家族や友達、学校の皆さんに伝え、自分にできることを行動に移し、平和な社会づくりに貢献していきたいと思っています。この学びを、今後の生活にも活かしていきます。



高麗小中学校 成田 詩礼さん

当時14歳で被爆した河野キヨ美さんの体験を聞いて、たった一発の原子爆弾で、街中は足のふみ場が無いほど死体が転がっていたそうです。戦争が終わった後も放射線で苦しんでいる人がたくさんいますが、被爆者の方が高齢で実体験や生の声は届かなくなってしまいます。だからこそ、私たちが次の世代へ原爆の恐ろしさや、被爆者の声を伝えていくこと、そして、悲しい現実でも向き合い、知ろうとすることが大事だと思います。

広島で私たちが 感じた事

